



学びと誇りが実感できるまち

～通学路などの安全点検！～

平成30年12月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

いざ子供走りありかん玉霰

(松尾芭蕉)

先月、第4回中学校合唱コンクールを行いました。「各中学校とも生徒一人一人のコンクールに向かう姿勢に目指す目標を一段と意識して臨んでいることがうかがえ、また市内全体の合唱の質が回を重ねるごとに高くなってきています。」と審査員の講評がありました。年々新しい課題を設定したり、難しい曲の演奏にもチャレンジしたりするなど、集団で取り組む力を発揮して、美しいハーモニーを創り出していました。「心が一つになった響き合う歌声に感激しました。」「生徒がみんなで力を合わせやり切る合唱をこれからもずっと続けてほしい。」など、来場された保護者や市民の皆様方からご意見・感想をたくさんいただきました。ありがとうございました。

さて、今回は、通学路などの安全点検について、その取り組みを紹介します。まず、本年9月、「庄原市通学路交通安全プログラム」に基づき、教育委員会をはじめ、広島県北部建設事務所、庄原警察署、市内小学校PTA、庄原市建設課などが各小学校通学路の合同点検を行いました。その結果、53箇所について改修などの対策が必要と判断しましたので、今後プログラムを改訂し、3年間かけて関係機関と協力しながらその取り組みを進めていくことにしています。

本年度の対策を講じる取り組みは15箇所を計画（すでに3箇所は完了）していますが、次の表は、その対策内容などを示した一例です。

小学校区	危険箇所	危険内容	対策内容
庄原小学校	庄原小学校体育館横の交差点	自動車が左折をするとき歩道に乗り上げている現状がある	自動車が歩道に入らないようにするため縁石とポールを設置をする
高野小学校	高野支所前の交差点	自動車のスピードが出やすい地点	道路横断箇所である注意喚起の看板設置をする
八幡小学校	川除田黒線ガードレール	ガードレールの土台が崩壊している	補修を実施する(9月完了)

次に、6月に発生した大阪北部地震によって学校敷地内のブロック塀が倒壊し児童が亡くなるという大変痛ましい事故が起きましたが、その教訓から、本市では、11月から6小中学校（高小、板橋小、東小、川北小、口南小、高野中）の敷地内にある危険なブロック塀を撤去し、金網フェンスに取り換える工事を行っています。

今後も安全な登下校や学校生活ができる取り組みを進めてまいります。